

確保に関する課題

記述内容を最小限の意味ある内容にカード化し、KJ法によりカテゴリー化した。

【 】内はカードの数

大カテゴリー	中カテゴリー	記述内容
募集しても応募がないことへの対策【64】	募集しても応募がない【47】	<p>折込広告を出すも反応がまったくない。</p> <p>いろいろな方法で求人しても問い合わせせらない。</p> <p>とにかく人が来ない（面接にすら）。</p> <p>訪問看護師になりたいという人が絶対的に不足しているから募集をかけても集まらない。</p> <p>病院が7：1になってからますます訪問看護にこなくなつたよう思う。</p>
	募集方法の工夫【7】	<p>どのように工夫をすれば人手がくるのか、という点（募集にかかる費用等も課題）</p> <p>ホームページを新しくしてアピールしてはどうかと考えているが更新にはお金がかかるといわれて出来ない</p> <p>口コミにしか頼れない状態。</p>
	募集広告等に多額の費用がかかる【4】	<p>最近はインターネットを活用して探す人も多く、インターネット上で求人状況を探しやすいものがあつてもよいのではないかと考えている。</p>
	求人方法の工夫【3】	<p>方法に多額をかけることは困難</p> <p>求人にかなりのお金がかかる。</p>
	人材確保に時間がかかる【3】	<p>HP、ブログなどを利用し、若い世代に対応できるよう調整中</p> <p>インターネット等で紹介をしていない。</p> <p>退職後、募集しても効果なく、常勤看護師が入職するまで1年かかった。</p>
訪問看護のPRが必要【58】	訪問看護にマイナスイメージがある【27】	<p>「一人の訪問に不安がある。」という理由で断られた。</p> <p>「車の運転を家族に反対された」の理由で断られた。</p> <p>希望はあっても訪問看護に自信がないと言い見学のみになってしまうことが多い。</p> <p>スタッフの交友関係看護師に声をかけるが、在宅は一人で訪問しなければならず責任が重いというイメージが強い。また訪問看護の内容がわからないので不安という言葉も多く訪問看護の仕事についてもっと多くの方に知っていただくことが課題である。</p>
	看護職に訪問看護が知られていない【17】	<p>全体的に訪問看護に対する評判が悪いという風評があり。</p> <p>訪問看護業務内容が理解されていないため、仕事内容を説明すると不安になってしまう。</p> <p>訪問看護の魅力が伝わらず、「大変」とのイメージが強い。</p> <p>訪問看護は病院看護師とちがう、自分自身で判断する力、責任能力が求められるので自信がないと言われる。</p> <p>訪問看護を敬遠する方が多い。</p> <p>訪問看護の必要性は理解されても敬遠されてきているように感じるためなんとか全国的にも評価されていけば、と感じている。</p> <p>訪問看護の仕事に対して理解度・認識が低いことから応募が少ないとと思う。</p>
	訪問看護のPRが不足【14】	<p>訪問看護の認知が一般の人より同じ看護師の方が低い</p> <p>現在病院等に就労している中堅・管理職レベルの方が在宅看護論を学んでいない。訪問看護師が何をするのか、何が出来るのか知らない。</p> <p>訪問看護を知らない看護師が多くいる。</p> <p>キャリアを活かせる現場をアピールしたい。</p> <p>新聞やHPでは訪問看護師の必要性がわかってもらえていないのではないか。</p> <p>確保するには話をきちんと行い（仕事の内容）理解してもらう。</p> <p>訪問看護の取り組みや仕事内容をもう少し病院等にアピールする必要があると思う。</p>